

令和6年年度 協働事業提案

事業企画案

1 提案事業の名称

提案する協働事業の目的や内容をイメージしやすい名称をつけてください。

千里中央周辺におけるママやこどもの居場所づくりと、新たな仕事へのチャレンジの場所を作り地域の賑わいにつなげる事業

2 提案事業の目的

以下の①～③の内容を具体的に記入してください。(箇条書き又は文章で記入。)

① 団体が取り組んでいる活動内容

②活動する中で行政と協働で取り組む必要性を感じたきっかけ(地域の課題やニーズ)

② 協働事業提案を基にめざす社会・まち(目的)

① 流入家庭の多い豊中におけるママの孤立を防ぎ、子どもたちの育つ環境を長期の視点で考える活動をしています。

② 活動をしていく中で、豊中北部における

・不登校や引きこもりになってしまっている中高生の居場所がない

(豊中の不登校児 中学生 460人 令和3年(豊中市工合教育会議 資料より))

(豊中の15歳~19歳のひきこもりは全体の12.5%推定値2530人×0.125=316人

ひきこもり親和33.7%(推定値5816人×0.337=1960人(平成28年の値。国全体の引きこもり人数が増えていることから、さらに増加していると推察される)(豊中市若者自立支援計画令和4年3月版より))

・将来への不安を抱える子どもたちや保護者が多い中で、将来に向けて自分自身の【やりたいこと】【できること】を探す場がない。

・育休の間だけ家庭にいるママやパパのコミュニティをゆるく形成できる場所がない

・自分で副業や専業で事業として始めたい事があっても、試す場所がない。

(例 ワークショップ講師など)

という課題を頻繁に耳にするようになりました。北部においても、不登校児や引きこもり、あるいは育休中のパパママの居場所を作り、週に1回仕事をする場所、新しいことにチャレンジする場所づくりが必要だと考えています。

③ 私たちは、人生のライフステージにおける寄り道と思われることがあっても、健やかに、過ごし、自分の可能性を実感できる街を目指します。不登校や引きこもりになった中高生の自主学習や、ゆるくつながるコミュニティを形成する場の提供、また、カフェや飲食店を試してみたい、ワークショップ講師になりたいと思う方の挑戦の場をつくることで可能性を広げます。

3 提案事業の内容と実施方法(必要な予算・財源の提案も含む)

現時点で考えている提案事業の内容について、「誰が」「誰と」「誰(何)を対象に」「いつ」「どのよう

にして」「何をする」のかを、具体的にお書きください。

提案事業を実施するために、貴団体ではどのような体制をとるか、どのような手法を使うか、どのように予算を確保するか、豊中市とどのように役割を分担するか、どのような関係団体や専門家に協力を求めることが可能かなど、お書きください。

(1) 事業の対象者 (対象物)

- ・豊中北部の不登校、ひきこもりの児童
- ・流入してきた、あるいは育休中の地域にコミュニティがないパパママ
- ・地域の公民館などの活動グループに入りづらいと考えている住民
- ・地域の副業やフリーランスで働きたいと考えている住民

(2) 実施内容と役割分担 (何を、どこで、誰がするのか)

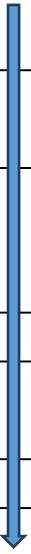
実施内容		担い手
1	曜日ごとにカフェオーナーを決め、カフェ講習を通じて担い手を確保し、とりまとめる	テトラポット 産業振興課
2	豊中市内で出た子供服のお下がり常設し、ママが入りやすい状況を作り、地域資源の循環拠点をつくる	テトラポット 家庭ごみ課
3	本棚を設置し、各棚のオーナーを募集。本棚を通じて自己表現を行い、定期的にオーナーで集まれる場を提供し、本を通じたコミュニティを形成する。	テトラポット 読書振興課
4	ワークショップのスケジュールを管理し、チャレンジする場を提供する	テトラポット 産業振興課
5	チャレンジカフェ曜日を設け、シングルマザーや介護、育児であまり働けない人、ひきこもりの若年層の就労チャレンジを支援する。	テトラポット 産業振興課 くらし支援課 長寿あんしん課 子ども支援課 人権政策課
6	実際にカフェを運営し、ワークショップなどを通じて地域の住民とつながる	テトラポット

シェアカフェ予定 (変更する可能性もあります)

曜日	人物	内容
日		確実に決定してから募集 (起業レンジセンターさんなど)
月	佐野 美	家庭料理を出す/ごみゼロを広めたい
火	楠田 恭子	カフェ内容これから考える
水	北山 倖愛	カフェ/ひきこもり経験者でも働ける姿を示す
木	北山 悠	カフェ/ワークショップを受け入れ、場づくり。

金	福西 紀子	おにぎりとお味噌汁の提供/独立の足掛かり
土	確実に決定してから募集（起業レンジセンターさんなど）	

(3) 年間スケジュール

月		イベント	スペースづくり
9	第1回カフェ実行委員会 (カフェ講習内容会議) 第1回カフェ講習 カフェオーナー事業研修 (随時)	ワークショップとカフェを オープンできる曜日からオ ープン 地域のニーズをつかみなが らイベントを開催	本棚設置 本棚オーナーおよび カフェオーナー募集
10	第2回カフェ講習	本棚オーナーのイベントを 定期開催	
11	第3回カフェ講習	シェアカフェオーナー同士 のイベントなどコミュニテ ィ形成の場を提供	
12			
1	第2回カフェ実行委員会 (実施内容の確認)		
2			
3	第3回カフェ実行委員会 (次年度実施内容)		
4	カフェオーナー事業研修		年度内に週7日営業 を目指す
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

随時、地域連携課千里コラボと連絡を密にし、スケジュールやイベント内容カフェ内のことを確認、都度、その時の状況に合わせ変更する可能性があります。

(4) 実施体制（貴団体の体制および、協力を求める団体・専門家など）

テトラポット実施責任者 北山悠

担当者 楠田 恭子/佐野 知美

協力団体

TEN

ソーシャルギルド 山本直子

くるる 櫻井 啓子

子どもの芽 Lab. 仲井 祐子

Eスクール 阿蘇 美智代

エルトワール 清水 妙子

NPO 法人 北摂ベースボールアカデミー

(5) 予算

事業に必要な経費	資金の調達方法
<p>必要微震の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炊飯器 3万円 ・鍋(大きさ 3タイプ) 2万円 ・フライパン ・トースター 6千円 ・電子レンジ 3万円 ・コーヒーメーカー(ハンドドリップ) 1万円 ・お皿(深め 浅め) 5万円(食器類) ・お椀 ・スープカップ ・食器洗い後のトレイ 4千円 ・食器拭き 千円 ・カトラリー(橋、スプーン、フォーク、ティースプーン、姫フォーク) 2万円 ・1人分のトレイ 1万5千円 ・グラス(水、冷たい飲み物用) 2万円 <p>・キッチン内で座る椅子 5千円</p> <p>・謝礼金(カフェ講習/事業研修) 2名×10000円×4回=80000円</p> <p>・消耗品費 35650円</p> <p>カフェスペース店舗カード印刷代 4000円 ×5曜 日=20000円</p> <p>カフェスタッフ用名札ケース 110円×15 =1650円</p> <p>掃除用具、ウェットティッシュなどの衛生品 類 7000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーヒーフィルター 千円 ・洗剤 千円 ・スポンジ 千円 ・ペーパーナプキン 千円 ・ごみ袋 千円 ・ハンドソープ 千円 ・消毒液 千円 <p>・旅費交通費 220円×往復×4名×7回=12320円</p> <p>・運営費 5100円 (資料コピー10円×30枚×7回=2100円)</p> <p>講習会場費 1000円×3回=3000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕入高 250000円 (実行委員が運営する日の仕入) <p>・謝礼金(カフェ実行委員会会議参加) 4名×1000円×2時間×3回=24000円</p>	<p>本棚オーナーからの収入 140000円 (本棚 2000円 20個設置。7か月分の半分埋まると仮定)</p> <p>シェアカフェオーナーからの収入 (売り上げの10%) 200000円</p> <p>市に期待する費用 300000円 (旅費交通費、謝礼金)</p>
618070円	640000円

4 想定する担当部局

地域連携課千里文化センター「コラボ」

産業振興課

家庭ごみ課

読書振興課

くらし支援課

長寿あんしん課

こども支援課

人権政策課

5 協働の必要性（協働の効果・利点）

なぜこの事業を豊中市と協働で実施する必要があるのか、協働することによってどのような効果や利点があるのか、具体的にお書きください。

・この事業は、豊中に住む、子どもたちや若年層に対し、将来的の暮らしに対する可能性を広げるためのものです。

人生における寄り道をしているフェースで自分の可能性を信じるためには、地域丸ごとで取り組む必要があります。地域の中で居場所を見つける、確保することが日々の暮らしの充実度に直結し、豊中市で過ごす時間の魅力となります。

流入と同じく、流出も多い豊中市ですが、生育環境の充実度により、ライフステージが変わるときに再度「豊中市」を選んで暮らす未来のために、公民連携で行う必要があると考えます。

・チャレンジする場をつくることで、副業やフリーランスとして働く自信を持って、あらたな産業を豊中市内で開始してもらうきっかけづくりとなる事業です。公共の場所であることが心理的ハードルを下げると考えます。

・公共の場にシェアカフェができることで地域の利用者が継続的に利用し、ゆるくつながることでコミュニティナーシングのきっかけになると期待しています。

・お下がり服の常設により、孤立しているママパパが利用しやすい状態をつくり、精神バランスの安定を支援することで、子どもたちの生育環境がより良いものにつながります。メンタルダウンしている「育休うつ」の問題を解決するには、「検索しなくても見つけられる場所」（保育センターのあるコラボカフェ）にあることが重要です。

6 提案団体の事業実績等

貴団体の 事業実績 や 行政との 協働実績	年	月	内容
	5	12	実行委員会立ち上げ
	6	1	コラボカフェスペースを使用してイベント
	6	2	千里市民フォーラムのイベントに共催。カフェスペースでドリンクの提供
6	3	コラボカフェスペースを使ってイベント	
貴団体の 専従職員	専従職員数（そのうちの有給職員数）		専従職員の経歴・関わる活動など
	3 人（ 人）		ママの孤立を防ぐ活動、地域資源循環など
提案事業 担当者	名 前		貴団体での役職名
	北山悠		代表
	楠田 恭子		
	佐野 知美		
			経歴・関わる活動など
			美容サロン運営/スマイル編集部員 /赤ちゃんからの ESD coral 代表 令和3~4年度子ども審議会市民委員/他団体と連携し、子供服のお下がりを回収無料配布活動/ ミートアップとよなか広報/ 蛍池ハロウィンイベントなど出店
			移豊人 2023年ロマチカまつり実行委員会 千里考今物語調査員 日本語ボランティア 千里タイムトラベラーズメンバー 豊中駅前ふれあいフェスタボランティア
			西宮市におけるゴミゼロ活動 滝沢ゴミクラブ会員
団体外 協力者	名 前		団 体 名
	楠田 雅紀		移豊人
	上村 有里		千里市民フォーラム
	山本 直子		ソーシャルギルド
	北山 倖愛		
	北山 嗣人		
	櫻井 啓子		
	仲井 祐子		
阿蘇 美智代			
			経歴・関わる活動など
			ボランティア団体の交流
			旧千里コラボカフェ運営者
			SDGs 出前授業など
			ドワンゴ学園N高等学校
			京都府立大学（農村経営と地域創生）
			カフェ経営
			子どもの理科実験教室
			ホームスクーリング講師

	清水 妙子		不登校児へのオンラインネイルスクール
	柴田 千尋		発達障がい児の母親のケア
	植松 剛史	NPO 法人 北摂ベース ボールアカデミー	新千里野球まつり開催
	福西 紀子		ボーイスカウトに在籍

※記入内容が多い場合、「別紙記載」でも差しつかえありませんので、わかりやすく具体的に記述してください。